

教科名	科目名	単位数	授業形態	系統	履修年次
地理歴史	世界史探究	文4、理3	選択	共通	3

教科書（発行所）	詳説世界史（山川出版社）
教科書以外の教材	1 新世界史要点ノート〔応用編〕（啓隆社） 2 アカデミア世界史（浜島書店） 3 世界史 重要単語 Check List（啓隆社）

目 標	1 世界史への興味関心を高め、主体的に探究していく態度を身につける。 2 世界史の大きな枠組みを地理的条件や日本史と関連づけながら理解する。 3 文化の多様性と現代社会の特質を多角的に考察し、歴史的思考力を培う。 4 資料を適切に選択し、考察した結果を適切に表現する力を身につける。 5 現代社会の諸課題について歴史的観点から考察する力を身につける。
-----	---

	学期	学習事項	学習内容	考查等
学習計画	1 学期	(2年次の続き) D 諸地域の結合・変容	(1) 諸地域の結合・変容への問い (2) 世界市場の形成と諸地域の結合	実力考查 中間考查 期末考查
	2 学期	E 地球世界の課題	(3) 帝国主義とナショナリズムの高揚 (4) 第二次世界大戦と諸地域の変容  (1) 国際機構の形成と平和への模索 (2) 経済のグローバル化と格差の是正 (3) 科学技術の高度化と知識基盤社会 (4) 地球世界の課題の研究	実力考查 中間考查 卒業考查
	3 学期	復習・総まとめ		

授業の受け方・学習に向けてのアドバイス等	1 教科書・整理ノート・資料集・地図帳・授業用タブレットを準備する。 2 説明を集中して聞き、学習した用語を用いて内容を説明できるまで理解するように務める。その理解した内容が議論の下地になる。用いることのできる用語は忘れない。 3 積極的に話し合いに参加する。様々な意見を取り入れ、より妥当な推論や因果関係を考察する。時代背景や複数地域の関連を的確に捉え、全世界的な歴史観を形成しよう。 4 ICT (Google Classroom など) を使い、考えをまとめる・考察する課題が出される。授業内容を自分事として捉えようとする姿勢や他者と意見を交換しようとする態度をもとう。これらは社会でも求められる資質となる。 5 歴史において、地形や地図は大切です。地図帳も適宜用いますので地図を見る癖をつけましょう。
----------------------	--

	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
評価の観点	近現代史を中心とする世界の歴史についての基本的な事柄を、わが国の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。	近現代史を中心とする世界の歴史から課題を見だし、世界史的視野に立って多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断するとともに、追究し考察した課程や結果を適切に表現する。	近現代史を中心とする世界の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生きる国家・社会の一員としての責任を果たそうとする。
評価の方法	授業時の取り組み（授業に臨む姿勢や意欲及び発問に対する答えの内容）や課題、定期考查を基に、世界史探究で身につけるべき能力を総合的に評価する。そのため、考查以外の普段の取り組み、提出課題の内容等も評価の対象となる。 また、身につけた知識、概念をどう生かすか。議論を通して伝え合い、より多面的・多角的な知識や態度を獲得しているか、活用しているかを主に授業課題を通して評価する。		